

まえがき

広くイノベーターの範囲を考えると、企業における収益と無関係に飛躍的に新しい分野を切り拓いたことで、その効果が広く生活者に利益をもたらしている人々が存在する。

本書の筆頭をかざるふたりの方々などその良き例である。コンピュータソフトであるリナックスを開発したリーナス・トーバルズ氏、そのベースを開いたリチャード・M・ストールマン氏、両氏ともに開発したソフトウェアを無料で公開して使えるようにした。その結果、多くの屈曲のある道を辿りながら世界で認められる有用なソフトウェアとしての分野を確立し、併せて有料ソフトウェアの独占を防ぎ、ひいては生活者に多くの富と幸せを与えることになっている。

今ひとつの例としてカーボンナノチューブを挙げる。カーボンナノチューブは1991年に飯島澄男氏によって発見された。その発表はカーボン原子の結びつきによって形作られる微細で精巧な構造についての驚きと賞賛を受けたが、その新しさの基礎的共通性によって広く興味をもたれた。早速、大量生産の方法も研究発表され、応用分野についても幅広く、電子放出ディスプレイ・走査プローブ顕微鏡の探針から、VLSIの配線など各種方面において期待されている。いずれは超波及度をもつて広い分野で生活者に大きい利益をもたらすものと考えられる。

本書にあげた他の方々も一部は企業化されている場合もあるが、その間接的な普遍効果によってより多くの影響を社会に与え、生活者に利益をもたらしていると考えられるものである。

2007年6月吉日

編者 垂井 康夫